

うつわとくらし 王さまのうつわ

東アジアでは古くから皇帝や朝廷、将軍などが使うためのうつわ
ここでは3つの地域の王さまがどのようなうつわを使っているのか

中国



No.42
五彩十二ヵ月花卉文杯 十二客
景德鎮官窯 中国 清「大清康熙年製」銘

つわがたくさん作られました。
たのかをみてください。

中国の清時代(1644-1912)の宮廷で使われていたカップです。一つの面には季節の花、反対側には詩が表されています。うつわの絵をながめながら、カップにお茶を入れて香りを楽しんでいたのでしょうか。

朝鮮



No.55
白磁角鉢 朝鮮 朝鮮王朝時代

朝鮮の王さまや貴族は、こうした白色のうつわを儒教の儀式に用いて大切にしていました。こちらのうつわは、お皿よりは深い形をしており、お供え物を入れて使われていたようです。

日本



No.93
色絵松竹梅文大皿
鍋島 日本 江戸時代中期

江戸時代中ごろ(18世紀)、将軍家や大名の間では、こうした大きなお皿を贈ることが人気でした。大きく描かれた松・竹・梅の絵には、おめでたい意味が込められています。お祝いのお席などで、このお皿で食事をふるまっていたのかもしれません。

昔の王さまも、今の私たちと同じように、お皿や鉢などのうつわ
展示室にある他のうつわはどのように使われていたのか、
あなたならどのように使いたいですか？

つわをくらしの中で使っていたようです。
像をふくらませてみてください。

※王さまとは、ここでは「同類の中で第一のもの、最高のもの」という意味で使用しています。
中国の皇帝や日本の将軍も王さまにたとえています。

発行：出光美術館
発行日：2024年7月20日
デザイン：大向デザイン事務所

出光美術館の軌跡 ここから、さきへ!!!



日本・東洋 陶磁の精華

—コレクションの深まり—

2024.7.20(土)—8.25(日)

鑑賞ガイド

この展覧会は、「中国」・「朝鮮」・「日本」の3つの地域の、
いろいろな陶磁器を楽しんでいただくことができます。



くらべてみよう 3カ国

この鑑賞ガイドには、3つの地域の陶磁器の
「おなじ」と「ちがう」特徴を
見ていただくためのヒントを集めています。

さっそく、
展示室で見てみよう!



3つの地域の陶磁器の特色

中国

どの時代でも、中国は新しい陶磁器の技術をいち早く生み出してきました。一色で彩った陶磁器にはじまり、白地に青色で絵付したもの(青花)。さらには、赤や黄、緑、ピンクなどの色鮮やかなうつわへと進歩していく様子もみどころです。

No.1
青花龍文壺
景德鎮官窯 中国
明「宣徳年製」銘



朝鮮陶磁の中に似ている作品があります。ぜひ探してみてください。

ここに注目!

- ・鮮やかな色
- ・皇帝のうつわ(=官窯)
- ・大胆な造形



Q.ぜんぶおなじ?

この3つの作品はどの地域で作られたものでしょうか。展示室で探して、点と点をつないでみましょう。



中国

朝鮮

日本

朝鮮

朝鮮

中国陶磁の影響を受けて、青緑色のうつわ(青磁)、白いうつわ(白磁)や青花の生産が始まりました。その一方で、朝鮮独自の「象嵌」技法を発展させました。また、朝鮮ならではのやさしい、やわらかなデザインに注目してみてください。

No.5
粉青沙器象嵌牡丹文四耳壺
朝鮮
朝鮮王朝時代



「牡丹」文様は中国から伝わりました。日本陶磁にも登場します。

ここに注目!

- ・象嵌技法(一つの素材にちがう素材をはめ込む技法のこと)
- ・あわい色合いと、やさしい文様
- ・ゆるやかな文様



Q.どこがちがう?

表情、服装、ポーズ。展示されている作品をじっくり見ながら、どのように

中国
No. 24
青花騎馬人物文壺



朝鮮
No. 47
青磁象嵌蒲柳唐子文淨瓶



日本
No. 95
色絵髙仙人文鉢



陶磁器とは、土や石を使い、焼いて作られたうつわのことを表します。みなさんが普段、お家で使っているお皿の中にも陶磁器がたくさんあるのではないのでしょうか。

日本では「やきもの」と呼ぶことが多いです。日本では「やきもの」と呼ぶことが多いです。日本では「やきもの」と呼ぶことが多いです。

日本

日本陶磁は、古くから中国や朝鮮の影響を受けてきました。同時に国内各地の生産地ごとに、さまざまな色や形、文様のうつわが生み出されていきました。その後、自然や文学を取り入れた陶磁器が登場し、日本独自の発展をとげました。

No.8
色絵芥子文茶壺
野々村仁清 日本
江戸時代前期 重要文化財



ここに注目!

- ・外国のテーマや形を取り入れた世界
- ・文学、茶の湯の文化との結びつき
- ・和の文様



実は、どれも中国の昔の人をイメージして描かれています。

「人」が描かれているか、3つの地域のちがいを探してみてください。